

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 20日

中施策事業名	農村環境改善センター管理運営事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者にとって安全で利用しやすい施設にするため、農村環境改善センターを適切に運営・維持管理する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	農村環境改善センター		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
施設利用率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	10.2	10.3	10.4	10.5	0	0
	実績値	9.6	11.1				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				7,819千円	8,175千円	
	a 事業費合計			7,819千円	8,175千円	8,032千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				981千円	1,013千円	1,202千円
③ コスト (①－②)				6,838千円	7,162千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				99 円	104 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、運営基準を見直したことで、施設利用率が上昇して目標値を達成することができた。 しかし、施設の老朽化が著しいことから、その維持管理について検討する必要がある。 また、中学生等を対象とした学習スペースの開放は少人数ではあるが、必要があることが分かった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設の存続期間を考慮した適切な維持管理方法の検討を行う。また、利用の無い部屋について、中学生等を対象とした学習スペースの開放を事業化する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設の老朽化が著しいことから、施設の存続期間を踏まえた適切な施設の維持管理及び運営を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 5日

中施策事業名	農業振興事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者及び新規就農者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農業者への支援や農地の集積により安定した農業経営ができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・経営所得安定対策 ・新規野菜ブランド化事業 ・地域計画 ・農業者、農業団体の育成・指導 ・新規就農相談 ・農政講座 ・市民菜園 ・農業支援補助金 ・農業振興地域整備計画 ・愛知用水利水者連絡協議会 ・沓掛管理組合 ・土砂条例 ・有害鳥獣 ・畜産 ・林務 ・農地適正管理指導 ・農地流動化		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
新規就農者数（延べ）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	15	17	19	21	0	0
	実績値	19	23				
単位	人(組織)						
新規就農者耕作面積	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	700	725	750	775	0	0
	実績値	768	1,101				
単位	a						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				10,706千円	15,514千円	
人 件 費	a 事業費合計			10,706千円	15,514千円	15,007千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				2,428千円	7,812千円	5,338千円
③ コスト (①－②)				8,278千円	7,702千円	
市民一人あたりコスト (③÷市の人口(評価対象年度末時点))				120 円	112 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C 新規就農者数及び新規就農者耕作面積は目標を達成している。しかし、農業者の高齢化や後継者不足が急速に進んでいるため、地域農業を維持することは非常に厳しい状況である。このことから、連携協定を締結したＪＡあいち尾東を始めとした関係機関と協力し、未来に持続可能な地域農業とするための新たな施策を積極的に実施する必要がある。なお、令和５年度は新規就農者に対する補助事業（国支援事業）を実施したため、事業費が大きく増えた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	地域計画を策定して、本市の地区ごとの「将来の農業の在り方」などを示す。併せて、令和５年度に開催した「地域農業の未来を考える会」で地域の農業者などが考えたアイデアを基に、農業振興施策を検討する。また、連携協定を締結したＪＡあいち尾東と共に、地産地消の推進、病害虫の防除、豊明産農産物のＰＲなど必要な農業者の支援を検討・実施する。さらに、新規就農者を増やすための施策を検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「地域農業の未来を考える会」でのアイデアを基に検討した施策を実施する。併せて、連携協定を締結したＪＡあいち尾東を始めとした関係機関と協力して、農業振興施策を継続して検討し、実施する。また、各種補助金等を精査したうえで、必要な農業者の支援を適切に行う。 市総合計画の見直しに伴い、農業振興地域整備計画の全体見直しを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 農業者支援関連事業	内容、理由、時期等 病害虫の被害拡大や物価上昇などにより農業者の負担が増加していることから、農業者支援の補助事業の内容を検討する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 農業者育成支援事業	内容、理由、時期等 農業者の育成や学ぶ場を提供するため、ＪＡあいち尾東が事業開始を予定している研修施設への支援を行う。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 20日

中施策事業名	農業委員会事業	部課名	経済建設部・農業政策課
		作成者	加藤 直美
①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている		
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる		
③中施策	産業の活性化を図る		
④中施策事業の対象	農業者、農地所有者及び市内の農地		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	農地の適切な管理がされている。 農地所有者の意向を把握し、農地の有効利用を図る。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 農業委員会運営（総会） ・ 農地法許可 ・ 農地法届出等 ・ 農地利用最適化推進活動 ・ 農地適正管理指導（耕作放棄地対策） ・ 農地流動化（利用権設定等） ・ 農地改良 届 ・ 農地関連システム整備運用 ・ 農業者年金 ・ 農業委員会庶務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
遊休農地面積	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	2.4	2.3	2.2	2.1	0	0
	実績値	2.1	1.5				
単位	h a						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				12, 056千円	13, 694千円		
	a 事業費合計			12, 056千円	13, 694千円	10, 476千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				3, 902千円	4, 184千円
③ コスト (①－②)				8, 154千円	9, 510千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				118 円	138 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体に関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 農業委員会総会を毎月1回開催。総会案件の現地調査はタブレットを活用し農地法等の審議を適切に行った。評価指標である遊休農地面積は委員の日々の農地の見守り及び農地利用最適化推進委員を中心とした農地パトロールにより大幅に減少した。今後、農地所有者の高齢化などから管理困難な農地が増えることが見込まれるため、引き続き委員に活動を行っていただき遊休農地の早期発見に努める。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	現地調査の精度を上げるため、農業委員会委員にもタブレット端末を整備し、農業委員会全体で農地情報共有を行い遊休農地を早期発見し、所有者に農地適正管理の依頼を早期に実施する。 また、遊休農地を減らすための具体的な方策を地域計画地区の話し合いの結果を基に農業委員会全体で協議を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	遊休農地を減らすための具体的な様々な方策について、関係機関と連携し農業委員会も含めて実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等